

1

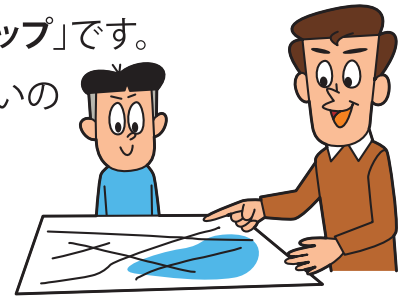
住んでいる地域でどんな災害の危険性があるか知っていますか？

災害の危険性について、その手がかりとなるのが「ハザードマップ」です。

マップの種類も、洪水・土砂災害・地震・津波・高潮などお住まいの地域の特徴によって数種類あります。

お住まいの市町村で作成しており、配布方法はいろいろです。

各市町村へお問い合わせ下さい。



国土交通省ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



2

自宅は地域で想定されている地震に対し十分な耐震性がありますか？

阪神・淡路大震災では、6,434人の尊い命が奪われました。このうち、地震による直接的な死者数は5,502人。その約9割の4,831人が住宅・建築物の倒壊などによるものでした。

県内市町村では、昭和56(1981)年5月31日以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しています。また、昭和56(1981)年6月1日以降に着工された家であっても経年劣化しますので、定期的な点検(耐震診断を含む)を受けることをお勧めします。

ポイント!

愛知県がホームページで公開している「愛知県防災学習システム」で、大地震が起きたときの、自宅の様子をシミュレーションできます。

<https://www.quake-learning.pref.aichi.jp>

